

高西地区 から こんにちは
 今月の 気になる人

暑いけど、頑張るで〜!

おかもら ひろあき
 岡村 博昌さん (54)

四万十地区より



四万十町で露地ピーマンと水稲、大豆を栽培する笑顔が素敵な岡村さん。7年ほど前に当時の部長さんに勧められたのをきっかけに、露地ピーマン栽培を始めました。現在、露地ピーマン10アール、水稲2ヘクタール、大豆30アールを栽培しています。

岡村さんは以前、日本空手協会にも所属しており、12年前から子供たちにも空手を教えているそうです。「十年後も農業を続けていけるような農業経営をしたい!」と語ってくれました。



新婚さんにエールを!

おかべ てっぺい
 岡部 鉄平さん (34)

おかべ ありき
 岡部 有希さん (34)

興津地区より



一昨年の9月、結婚を機に鉄平さんの郷里である興津で就農された岡部さんご夫妻。勤めていた高知市内の自動車ディーラーで出会い、職場結婚されたそうです。

13年振りに帰って来た興津で始めた農業。大きく変わった仕事内容に不安もありましたが、優しいご両親や周りの方々に助けられ、20アールのミョウガを栽培されています。「仕事が楽しくなるように早く慣れたい」と話す鉄平さん。「不器用なので、私も早く慣れてお母さんのように上手に作業が出来るようになりたい」と笑顔で話す有希さんを、鉄平さんが優しく見守る姿が印象的でした。

「ちょうどコロナの時期に重なってしまい、行けなかった新婚旅行に行ける日を楽しみにしています」と話すお二人に、思わず応援エールを送りたくりました。

インド家庭料理「BONGA」

すぎはら たけし
 杉原 健さん (58)

すぎはら ゆかり
 杉原 ゆかりさん (48)

梶原地区より



梶原町梶原で、インド家庭料理「BONGA」を営んでいる杉原 健さんとゆかりさんご夫婦。出身は熊本県ですが、平成28年の震災による被害を受け移住先を探していました。そんな中、ここ梶原町の豊かな自然と魅力が目にとまり、小学生になるお子さんの生活環境にも最適だと思い、昨年8月に移住。そして、熊本県にいた時から営んでいた「インド家庭料理店」を復活、今年2月に「BONGA」として梶原町にオープンしました。

こだわりは無添加、無着色料!! 約35種類の豊富なスパイスを調合し、7種類のカレーを提供しています。一見難しそうなおイメージのあるスパイスカレーですが、4種のスパイスがあれば普通のカレーができるそう! もちろんその先には奥深い世界がありますが、「家庭料理を通じてスパイスの素晴らしさを身近に感じてほしい」という想いで日々お客さんにインド料理を提供しています。

看板メニューは「バターチキン」! 皆さんも是非、訪れてみてはいかがですか?

定休日: 月曜日
 営業時間: 昼 11:30~15:00
 夜 17:00~20:00



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



大きく成長するよう支柱をたてています

1 四万十地域 大きくなあれ コンテナ生姜栽培、金賞を目指して！

7月15日、四万十町立影野小学校の三、四年生の児童8名が農業用コンテナを使った「コンテナ生姜作り」の授業を行いました。営農指導員の森本英和さんと生姜栽培研究会に所属する大谷美喜さんが指導を行いました。

生姜栽培研究会とJAでは、20年以上前から次代を担う世代への食農教育活動の一環で、農業や管内の農産物の魅力を伝えるため、コンテナを活用した生姜作りの指導を行い、今年も管内の8つの小学校で104名の児童が挑戦しています。

今年は5月11日に生姜を植え付け、6月中旬に芽が出たことを確認したため、これから来るであろう台風で芽が折れないよう支柱を立てる作業を行いました。児童は土をほぐし生姜の周りに集め、土が乾燥しないようにしきわらを行いました。生姜は10月の終わりに収穫を行います。児童からは、「しっかりと水やりをして育てていき、金賞を取ってみたい！」などの声が聞かれました。今後は生姜栽培研究会と営農指導員が収穫に向けて引き続きアドバイスなど行っていきます。



児童に説明する豊田庄二さん

2 津野山地域 地域農家を訪問

3 四万十地域 町内を美しく、 JAボランティア清掃



清掃活動を行うJA職員

7月3日、高西地区の農協職員による農協および四万十町内中心部の清掃活動が行われ、役員職員45人がボランティアとして参加しました。マスク等の感染対策を徹底し、駅前や商店街、住宅地の環境整備に取り組んだほか、農協会館周辺の植木の刈込なども行いました。高西地区では地域貢献として毎年ボランティア清掃活動を行っています。同地区の上澤哲猪常務は「地域あつてのJA、清掃活動を通じて地域活性に貢献したい」と話しており、今後もこの取り組みを継続してまいります。

4 津野山地域 ナス部会 目慣らしを開催



共計検査員の品質説明を受けます

津野山ナス部会は19日、出荷目慣らし会を開催しました。管内のナス栽培は4月に定植し5月下旬頃から出荷が始まります。今年は早期の低温や早い梅雨入りの影響で初期の出荷量が伸び悩んでいました。6月下旬からは出荷も安定しはじめ例年に追いつく勢いで出荷が続いています。梅雨も明けこれから高温期に入ると品質の低下などが懸念されるため、部会で目慣らし会を開催し、規格・品質の周知と適正な栽培管理の実施を促しました。今年も猛暑に負けないナス栽培を展開し、前年を上回る出荷量を目指していきます。

5 四万十地域 梨生産部会現地検討会を開催



生育を確かめています

7月19日、いの町八田にある園地にて梨の生産現地検討会を開催しました。県内各地から生産者、JA担当者、普及所担当者ら40名が集まり、高西地区からは梨農家4名、JA職員1名、普及所職員1名の計6名が参加しました。高知県農業振興部より果樹の生育状況の説明や農業技術センターからは病害虫の発生状況や対処方法についての説明があり、園地を管理する森沢豊和さんから早生梨や新高梨などの新梢管理方法等について説明が行われ、実際の作業を見学しながら情報交換を行いました。秋の収穫に向けて引き続き管理を行っていきます。

6 津野山地域 土佐甘とう現地検討会を開催



整枝を実演する高橋氏

津野山土佐甘とう部会は16日、今年度第一回目の現地検討会を開催しました。7月中旬の時期は栽培上とても大切なポイントの時期となっており、梅雨明け以降の高温期の灌水管理や繁殖してきている株の整枝作業等の管理技術について周知を行いました。会には25名の部会員らが出席し、除去する枝と残す枝の選別や作業時期について様々な意見が飛び交いました。圃場見学をさせていたいただいた部会篤農家の高橋氏からは整枝の実演を兼ねた説明も行われ、他の部会員からは「篤農家の技術を見てとても勉強になった。」という声が多く、とても有意義な現地検討会となりました。

7月14日、津野町立中央小学校の6年生が地域の農家を訪問し、作業見学や収穫体験を行いました。今回児童らは、津野町芳生野で米ナス約30アールを栽培している集落営農組織「えいの芳生野」と、同じく同町芳生野で土佐甘とう5アールを栽培している高橋克志さんを訪問しました。はじめに、「えいの芳生野」で米ナス栽培を担当している豊田庄二さんのハウスを見せてもらい、栽培のコツや収穫体験を行いました。真夏のハウス内はとても暑くなり時には40度を超えることもあります。豊田さんは児童らに農業の楽しさや大変さ、やりがいなどを伝えながら丁寧に説明をしていただきました。その後、近くで土佐甘とう栽培を行う高橋克志さんのハウスを訪問。甘とうは果実の曲がり具合が品質の要になることや、出荷先、また消費の方法などの説明が行われました。児童らは収穫した甘とうを生で食味体験するなどして津野山地域が誇る特産品の魅力を味わいました。生では少し苦みがあるものの、「とてもおいしい！」と好評でした。中央小では今年も様々な食育活動を展開していきますので、地域の皆様のご協力をお願いいたします。

四万十地域より

夏秋ピーマンを栽培してみませんか？

管内の夏秋ピーマン栽培は約25年前から始まり、生産者・面積ともに年々増加し、平成29年度から4年連続で販売金額1億円を突破しています。生産技術も年々向上してきており、部会では更なる所得の向上を目指して取り組んでいます。

是非、夏秋ピーマン栽培を始めてみませんか。

～栽培のながれ～

△:定植 ■:収穫期間

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
露地					△	■	■	■	■	■	■	■
雨よけ				△	■	■	■	■	■	■	■	■

★出荷調整作業★

四万十夏秋ピーマンの出荷作業は全て農家による

「個別選果（袋詰め・箱詰め）」を行っており、栽培規模は選果の作業性も考慮して決めてください。

《10aあたりの生産収支の目安》

収入	露地栽培		雨よけ栽培		
	出荷数量 (kg)	6,000	10,000		
	平均単価 (円/kg)	350	360		
	精算金額 (円)	2,100,000	3,600,000		

※過去3カ年の平均数値を参照しています。収穫や所得を保証するものではありません。

費用	金額（露地栽培）	
	種苗代（購入苗）	220,000
	肥料代	160,000
	農業代・雇人費・資材代等	590,000
	合計	970,000

※雨よけ栽培は別途施設費等が必要です。

興味のある方は下記までご連絡をお願いします。
◎問い合わせ先：JA高知県 四万十営農経済センター
中越（TEL.0880-22-5179）



津野山地域より

加工用ワサビ栽培

生産者募集

津野山地域の特徴

津野山地域は、高知県の梶原町と旧東津野村（現在の津野町の西半分）をあわせた地域で、四万十川源流の澄んだ水と、四国カルストの麓・豊かな自然環境のもと、園芸作物では主に米ナス、小ナス、シシトウ、土佐甘とう、ミョウガなどを栽培しています。津野山地域の冬場でも栽培できる貴重な品目である「加工用わさび」の生産者を募集します。興味のある方は気軽にご相談ください。

【栽培スケジュール】

作目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
加工用わさび	圃場準備	定植	かん水・追肥	温度管理	病害虫防除		収穫	調整	栽培終了片付け

【1aあたり生産収支の例】

収量	kg単価	売上	経費（約30%）	精算額（所得率 約70%）
400kg	350円	約14万円	約4万円	10万円

※この経営収支は津野山地域の過去の実績を基に算出しています。収量や所得を保証するものではありません。

【栽培のメリット】

- ・遊休施設の有効利用が可能である
- ・冬場の津野山地域でも栽培可能であり複合経営の補助品目となる
- ・栽培コストが低い
- ・契約栽培のため価格が安定している。



◎問い合わせ先：JA高知県 津野山営農経済センター 経済課
高知県高岡郡津野町北川2281-4
井上（TEL. 0889-62-2335）（FAX. 0889-62-2381）

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

俳句

霧の里句会

草笛に草笛答ふ郷の土手
うすれゆく父母の匂ひや夏の家

武政 礼子

介護車へ手を振る農婦青田径
干し竿の照り騎りして梅雨の空

市川 和美

陽のまぶし正午を指せる時計草
戦時下は掌黄なる南瓜食

今橋 孝子

耳鳴りに合わすがごとく蝉時雨
プランターのゴウヤ屋根まで届きたり

田中 信子

梅雨空に鯉の群れよる小寺池
夕暮れて他人と語らふ蓮の池

竹内 春猪

雨上りからりと晴れて土用入
空蝉や何も求めず無の心

西宮 正衛

枝を借り空に遊ぶや凌霄花
四万十川や雨奇晴好の舟遊び

長谷部 延子

短歌

窪川短歌教室

昨夜まで月が綺麗に見えたのに雨でいじわる皆既月食

中内 佐登美

マスクして下校する児が梅雨晴れにつつきあいつつスキップしつ

黒岩 やよえ

ひと時をホタルの窓に光りいて逝きて問もなき友の偲ばる

島岡 紀美

浅草の風情偲びて楽しめり沢村貞子の「私の浅草」

市川 隆子

池江選手の泳ぎみるたび「頑張つて」と「無理をしないで」が交錯をする

北村 さちこ

ホトトギス鳴きつつ頭上過ぎゆけりひとこえごとに空を移りて

市川 浩子

老い猫の目の追う庭の小雀の二羽は怖さを知らぬ新顔

文野 見枝子

【各支所連絡先】

四万十支所

0880-22-0003

梶原支所

0889-65-0111

興津支所

0880-25-0002

東津野支所

0889-62-2211

大野見支所

0889-57-2321

葬祭会館 ルミエール四万十

0880-22-5900

(株)JAメモリアルこうち 津野山出張所

0889-40-1955

事故受付など 高西サービスセンター

0889-40-4141

◆◆おたよりから◆◆

身近な地域の情報・レシピ等 毎月「こうぐり」楽しみにしております。
写真が綺麗で読んでいて楽しかったです。
(梶原町・62歳・女性)

俳句

土砂降りの中まっしぐら夏燕

(津野町・村田 三喜子)

風通し縁に座わりし足冷やす

(津野町・弘瀬 秀頼)

短歌

我が行く未を知る人もなし迷える枝を空に伸ばして

(梶原町・瀬戸口 登貴恵)